

申 立 書 付 票

これは事件進行の参考のためのものですから、申立書と一緒に提出してください。あてはまる番号や記号等に○印をつけ（いくつでもかまいません。）、特に重要と思うものには 印をつけてください。また、空欄には、必要に応じて自由に書き入れてください。

年 齢	申 立 人（あなた） 相 手 方	歳 歳	期 間	婚姻期間（内縁期間も含む） 現在の別居期間	年 月 年 月
この問題で、これまで調停や審判を利用したことがありますか。		1 ある。 ア 今も続いている。 イ すでに終わった。 2 ない。			
		平成 年 月 ころ 家庭裁判所 支部 申立人の氏名 事 件 番 号 平成 年（家 ）第 号 事 件 名			
この申立てをすることを相手方に伝えましたか。		1 伝えた。そのときの相手方は ア 家庭裁判所で話し合うことに賛成した。 イ 感情的になり暴力を振るいかねなかった。 ウ 家庭裁判所へ来るかどうかははっきりしなかった。 エ その他（ ） 2 伝えていない。 その理由は ア 話し合いに全く応じないから。 イ 暴力を振るいそうで怖かったから。 ウ その他（ ） 調停をスムーズに進めるため家庭裁判所が相手方に連絡する前に、可能ならば申し立てたことをあなたから相手方に伝えておくことをお勧めします。			
相手方は、あなたの現在の住所を知っていますか。		1 知っている。 2 知らない。 あなたの住所を ア 相手方に知られてもかまわない。 イ 相手方に知られたくない。			
今回の調停での主な争点は何になると思いますか。		1 離婚すること 2 財産分与又は慰謝料の額 3 生活費のこと 4 子どものこと ア 親権 イ 面接交渉 ウ 養育費 エ その他（ ） 5 その他（ ）			
未成年の子どものことで、家庭裁判所で特に気をつけてほしいことがあれば記入してください。					
調停の話し合いはうまく進められると思いますか。		1 進められると思う。 2 進められないと思う。 その理由は ア 意見があまりにも食い違っているから。 イ 感情的で、意地になっているから。 ウ 家庭裁判所でも暴力を振るうおそれがあるから。 エ 態度がはっきりしなかったから。 オ 家庭裁判所へ来ないと思うから。 カ その他（ ） 3 分からない。			

相手方の暴力について記入してください。

1

配偶者に関する保護命令の申立て（DV防止の申立て）をしましたか。
ア はい。 [地方裁判所 支部
事件番号 平成 年（配子）第 号]
イ いいえ。
2 保護命令は出ましたか。
ア はい。 イ いいえ。
3 保護命令の内容はどのようなものですか。
ア 接近禁止命令（6か月） イ 退去命令（2か月）
ウ 子への接近禁止命令 エ 住居付近のはいかい禁止命令

保護命令が出ている場合は、命令書の写しを提出してください。

1

相手方は、家庭裁判所で暴力を振るう可能性がありますか。
ア ない。
イ ある。

[]

収入はどのくらいですか。

申立人（あなた）		相手方	
1月収（手取り）	約 万円	1月収（手取り）	約 万円
2賞与	約 万円	2賞与	約 万円
3実家等の援助を受けている。 月額約 万円		3実家等の援助を受けている。 月額約 万円	

現在同居している家族などについて記入してください。
申立人，相手方が同居中の場合は，申立人欄に記入してください。

申立人（あなた）				相手方			
氏名	年齢	続柄	職業・学年	氏名	年齢	続柄	職業・学年

家庭裁判所から電話による問い合わせについて

1 あなたの平日昼間の連絡先を記入してください。
ア 携帯電話番号 - -
イ 連絡先名 自宅・勤務先・その他（ ）
電話番号 - -
裁判所名で電話しても よい ・ 差し支える
電話番号通知（１８６）の要否 必要 ・ 不要
2 裁判所から連絡をするに当たり，留意すべきこと（電話できる時間帯）があれば記入してください。

家庭裁判所への要望があれば記入してください。

記入者名

氏名
1 申立人本人 2 その他 [申立人との関係：
連絡先（電話番号）：]